

ROTARY CLUB OF AMA WEEKLY REPORT.



2023～2024年度
国際ロータリーテーマ

世界に希望を
生み出そう



2023-2024年度 RI会長 ゴードン R. マッキナリー
第2762地区ガバナー 酒井 法文

会長 加藤 春視 副会長 高山 敏

幹事 竹田竜一郎

例会日 毎週月曜 例会場 名鉄グランドホテル

【公共イメージ向上委員会】

委員長 大西 晃弘 副委員長 山田 広明

委員 池崎 晴美・木下 章吉・武藤 正俊・中西 巧

【事務所】〒453-0015 名古屋市中村区椿町17番16号 丸元ビル TEL.(052)451-6617 FAX.(052)451-6710 e-mail:kk01-ama@eos.ocn.ne.jp

2023年 10月 23日 (晴れ) 第3週 第2445回例会

Song ” 我らの生業”

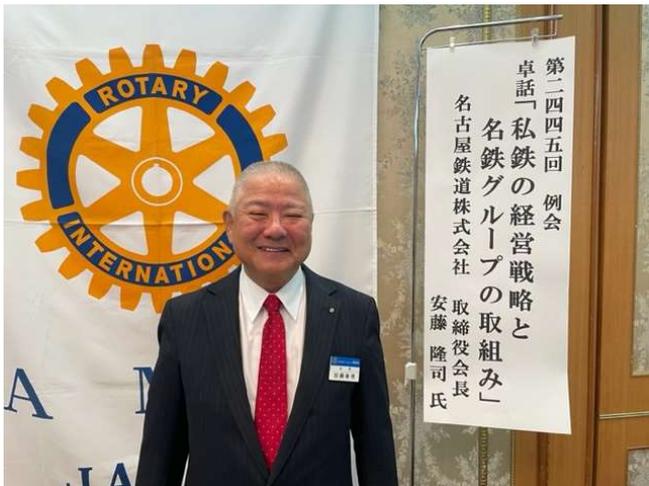
Guest 野田亜紀さん (ピアノ野田さんゲスト)

Attendance

会員	67名	欠席	12名	出席率	78.57%
----	-----	----	-----	-----	--------

President Time

加藤春視 会長



本日は、名鉄グループ会長 安藤隆司様に卓話をお願いしています。演題「私鉄の経営戦力と名鉄グループの取り組み」です。後ほどよろしくお願いたします。

ラグビーワールドカップ2023、前回大会の再現となる因線の対決！そして決勝戦へ。【イングランド対南アフリカ】2年ぶりの優勝をめざすイングランドは1次リーグから唯一全勝。攻守に数的優位をつくるのが試合運びと勝負強さが光る。2連覇を狙う南アフリカは選手層が厚く勝員所の後半にこそ底力を発揮する。前回のリベンジに燃える相手にどう立ち向かうか。ラグビーの醍醐味が詰まった試合に期待したい。10/22午前4:00からの試合の結果は、イングランド15-16南アフリカで南アフリカが決勝戦に進ん

だ。決勝戦は、29日午前4時、ニュージーランドー南アフリカです。さあ、どちらが優勝が楽しみです。

10月は、「経済と地域社会の発展」です。ロータリー友の会より。ロータリーでは、世界で最も支援が必要とされる人道的ニーズが何かと考え、長期的な変化をもたらすために、特に6つの分野（平和と紛争予防／紛争解決、疾病予防と治療、水と衛生、母子の健康、基本的教育と識字率向上、経済と地域社会の発展）に重点を置いて活動しています。ロータリーで、10月は、経済と地域社会の発展月間です。人々が生活と地域社会の経済に、末長い発展をもたらしていけるよう支援しています。

「経済と地域社会の発展」分野の目的と目標。ロータリー財団は、ロータリアンが以下のような形で、持続可能で測定可能な長期的改善を地域社会と人々の暮らしにもたらしするために、人々に投資することを可能にします。

1. 貧しい地域社会の経済発展を促すための、起業家、地域社会のリーダー、地元団体、地域社会ネットワークの能力の向上。

Today 10月28日 (第2446回)

担当 黒川元則 親睦活動委員長

演題 秋の家族会

三重・滋賀県方面

(10月30日例会振替)

Next Week 11月 6日 (第2447回)

担当 西川広樹 ロータリー財団副委員長

演題 卓話「財団をクラブ活性化に」

ポリオプラス／職業研修チーム委員会

委員 金田 英和君

2. 生産性の高い仕事の機会の創出。
3. 支援が行き届いていない地域社会での貧困の削減。
4. 経済と地理社会の発展に関連した仕事で活躍していくことを目指す専門職業人のための奨学金支援。

世界各地の活動紹介。ナイジェリア・アポRC：配偶者を失った女性に小口融資を行い、ビジネスを成功させるための研修を実施しました。インド・ジャムシェドプルウエストRC：家族を養わなければならない少女・女性を対象に、食品加工、服飾仕立て、コンピュータスキル、起業などの職業研修を実施しました。ウガンダ・カンパランサンビヤRC：地元住民を対象とした、資産管理、貯蓄、ローン、投資、保険、老後計画に関する研修を実施しました。フィリピン・マカティーンサン-ロレンツォRC：米生産者1,500人への小口融資を実施し、ビジネスの効率を上げることを目的とした精米機の使用管理に関する研修を行いました。このような活動を行うに当たり、ロータリー財団のグローバル補助金を申請することができます。詳細な受領資格の判断基準は、国際ロータリーのウェブサイトからご覧ください。

最後になりますが、ますます経済と地域社会の発展に我々が協力することを祈念して会長挨拶と致します。有難うございます。

Secretary Report

竹田竜一郎 幹事

- 1 次回例会は10月28日（土）秋の家族会です。10月30日（月）の例会振替になります。



野田亜紀さん

安藤隆司様より

加藤春視 会長

本日は名古屋鉄道（株）会長の安藤隆司様に卓話をお願いしています。演題「私鉄の経営戦略と名鉄グループの取り組み」です。よろしくお願いいたします。

11月4日はあま市新市庁舎にて、55周年と系統贈呈式が開催されます。

高山 敏 副会長

ニコボックスの皆様、ご苦労様です。

名古屋鉄道会長 安藤隆司様、本日の卓話よろしくお願いいたします。

竹田竜一郎 幹事

名古屋鉄道株式会社 安藤会長、本日の卓話よろしくお願いいたします。

今週土曜日の家族会、楽しみにしています。

木下草吉君

名古屋鉄道株式会社会長 安藤隆司様、本日の卓話よろしくお願いいたします。

大竹敬一君

名古屋鉄道会長 安藤隆司様、本日の卓話よろしくお願いいたします。

青本道春君

名古屋鉄道会長 安藤隆司様、本日の卓話よろしくお願いいたします。

栗木和夫君

黒川君、妻の誕生日に心遣い有難う。喜んでいました。

田中正博君

ニコボックスの皆様、ご苦労様です。

名古屋鉄道会長 安藤隆司様、本日の卓話よろしくお願いいたします。

後藤裕一君

名古屋鉄道会長 安藤隆司様、本日の卓話よろしくお願いいたします。

服部竜也君

名古屋鉄道会長 安藤隆司様、本日の卓話よろしくお願いいたします。

家田安啓君

寒くなりました。ここで一句。ころもがえ ウエスト
サイズが きにかかる。

伊藤英毅君

先週は小さな秋をみつけに、軽井沢に出かけました。
天気が良く、最高でした。

児玉憲之君

先週土曜日に釣りに参加されました皆様、お疲れ様で
した。

黒野晃太郎君

野田先生の娘さん、あきさんに久しぶりに会えて。

水野 眞君

街路樹の落ち葉で路上が賑やかになりました。秋です
ね。

水谷安紀君

朝晩寒くなってきました。風邪をひかないように心が
けましょう。

小倉廣三君

名古屋鉄道会長 安藤隆司様、本日の卓話よろしくお
願います。

大西晃弘君

名古屋鉄道会長 安藤隆司様、本日の卓話よろしくお
願います。

酒井和雄君

名古屋鉄道会長 安藤隆司様、本日の卓話よろしくお
願います。

武井 正君

関西は阪急・阪神電鉄の球団同士の戦いで、大変盛り
上がっています。名鉄さんもドラゴンズを買収して強
くしてください。

臼井幹裕君

メールソフトOUTLOOKが不具合となり、困りまし
た。

横井久雄君

名鉄鉄道会長 安藤隆司様、本日の卓話よろしくお願
いします。

合 計 71,000円



10月ニコボックス賞の田中君、木下君、武井君



「私鉄の経営戦略と名鉄グループの取組み」

名古屋鉄道株式会社

会長 安藤 隆司氏



皆さんこんにちは。名古屋鉄道の安藤です。まずお礼を
申し上げますが、あまロータリー様には長年に亘り、当名
鉄グランドホテルをご利用いただきまして誠にありがとう
ございます。皆さんの様な各分野でご活躍の方々の前で、
内容のある面白い話をできる訳ではございませんが、短い
時間ですので我慢して聞いていただければと思います。今日
は私鉄の経営戦略がこの10年ほどの間にかなり変わっ
てきたということ、そして当社の取組みの一部をご紹介
させていただこうと思います。

私鉄は全国に大小あわせて160社ほどの事業者があり、
そのうち大手私鉄と呼ばれているのが16社で、関東の9社、
関西の5社と西鉄、名鉄です。私鉄はだいたい100年の歴
史がありますが、今の姿になるまでに様々な変遷がありま

す。

当社は古いほうで創業から120数年で、26の鉄道が合併を繰り返して今の形になりました。路線キロ数は、私鉄のなかでは3番目です。私鉄の多角化は、阪急グループの創業者である小林一三氏によってつくりあげられました。鉄道を敷設した当初は乗る人が少なかったため、乗客を増やすために沿線で住宅開発をし、さらには商業やレジャー施設を開業させる。それによって、定住する人や行き来する人が増え、結果的に鉄道の利用者も増える。鉄道と沿線開発を事業の両輪にして、全体の利益をあげていくというスキームです。この小林一三氏のモデルは今でも色あせることなく、依然として私鉄経営の根幹をなしています。ちなみに東京の田園調布の住宅開発も小林さんが手がけ、また地方の中小私鉄も、大なり小なり同じ事業戦略をとっています。

公共交通を利用するお客さまの占有率では鉄道が約8割で、このグラフの自動車とあるのはバス・タクシーです。鉄道のなかで私鉄のシェアは約半分を占めています。

大手私鉄の輸送人員は、1991年度をピークに段々と減っていました。バブル崩壊、リーマンショックによる不況や、東日本大震災（2011年）の影響もありずっと伸び悩んでおりましたが、近年は外国人旅行者の増加などで、上昇に転じておりました。その後新型コロナウイルス感染症の影響により輸送人員の減少は免れなかったものの、現在は回復してきております。そのような中で、少子高齢化・人口減少が大きなリスクで、鉄道事業の今後はと言うと、現状でもローカル鉄道の経営はぎりぎりの状況ですが、さらに進む過疎化により地方の鉄道会社から経営が大変になっていくと思われます。当社も長い地方路線を持っていますので、鉄道事業ではこれから先の成長戦略を描くことはかなり難しいと考えています。さらには、リモートワークの普及といったコロナ禍により進んだ、働き方の多様化によって、通勤のあり方が変わるというリスクも予想されます。

そうした事業環境のなかで、当社グループはこの地域を中心に7つのセグメント、約110社で形成されておりまして、名鉄グループバスHD・名鉄タクシーHDといった交通セグメント、名鉄運輸・太平洋フェリーといった運送セグメント、名鉄都市開発・栄開発といった不動産セグメント、名鉄ホテルHD・名鉄観光サービスといったレジャー・サ

ービスセグメント、名鉄協商・名鉄百貨店といった流通セグメント、中日本航空・オールニッポンヘリコプターといった航空関連サービスセグメント、メイテツコム・名鉄自動車整備といったその他セグメントがございます。これだけ多くの事業をやっておりますので、皆さんの仕事やプライベートで何か名鉄グループとかかわりを持って頂いているのではと思います。私が入社した頃はグループ会社が300社もありましたので名鉄グループでゆりかごから墓場まで面倒みれると冗談を言ってました。この連結対象会社数は大手私鉄グループの中で、東急さんに続き2番目に多い数です。それで連結の営業収益は単体の約6倍とグループ会社の占める割合が大きいのも特徴です。中でも現在当社グループの柱となっているのが不動産事業でありまして、商業施設やパーキング、マンション、一戸建ての開発や運営を沿線地域を中心に行っております。

当社グループの不動産事業は、2022年3月に大きな再編を行っておりまして、これまでは当社の傘下に名鉄不動産を含めた各不動産事業子会社がございましたが、再編後は統合会社である名鉄都市開発が各事業子会社の株式を保有して不動産戦略を練り、川上から川下まで一貫した運営体制での成長を目指しております。今回の統合によってグループ不動産事業の大きな成長へ向けた土台が構築できましたので、今後はさらに大規模な開発や不動産取得などの投資を行う体制が整ったと考えております。課題はご多分に漏れず人材面でありまして、今は新卒採用やヘッドハンティングにより高質な人材の確保と育成強化を急いでおります。

私鉄各社は鉄道事業以外のセグメントをどう伸ばすかという課題に直面しておりまして、とりわけ不動産事業の拡大にシフトしているのは当社だけではありません。スライドは大手私鉄の不動産賃貸部門の売上高の推移を示したものです。どの会社も好調に推移しており、特に顕著に伸びているのが、東急さん、近鉄さん、阪急阪神さん、京王さん、南海さんあたりです。

近年の鉄道会社の特徴として駅ナカビジネスがあります。当社グループもμプラットの名称で駅構内や周辺で商業施設を展開しております。現在、神宮前駅や金山駅、一宮駅等の6施設ございますが今後さらに拡大してまいります。このμプラットの他にも、瀬戸線の高架下を利用した「SAKUMACHI商店街」や地下鉄伏見駅の「ヨリマチ伏

見」などを展開しておりまして駅の商業施設を活性化させる戦略を進めています。また、当社グループではゴントラシエというパン屋を東京の南青山、目黒、新宿で3店舗やっておりますが、東京は店舗の場所で売上が全く違っており、街に合った店舗展開が必要であると考えております。今後の開発予定の物件としましては、長年の懸案であった神宮前駅の西街区の開発や東岡崎駅の南口と北口の開発などがございますので、これらの概要を少し紹介させていただきます。

神宮前駅西街区は以前パレというスーパーがあったところで、その当社ビルを取り壊して新しい商業施設を展開するものです。名鉄名古屋駅から電車で最短6分の神宮前駅は、年間約700万人が訪れる熱田神宮の玄関口ですが、周辺土地の複雑さもあって、なかなかそれにふさわしい街づくりができずにいました。そこで名古屋市を中心に色々動いてもらっていますが、まず当社としてやれることはやろうということで当社単独の計画を進めることにしました。反対側の東街区には「μPLAT神宮前」と賃貸住宅「meLiV神宮前」を既に開業しておりますが、この西街区は、2024年秋ごろの開業を予定しております、日本の伝統的な木造建物の要素を取り入れた特徴的な外観の建物に、地域の馴染みのお店をはじめ、食べ歩きも楽しめる地域食材を使ったお店など、地域の良さを感じられる店舗の誘致を進めています。次に、東岡崎駅の北口ならびに南口の開発でございます。これも長年の懸案事項で、北側のレトロな岡ビル百貨店は訪れる人を驚かすほどのインパクトがあったわけですが、いよいよ岡崎市の協力のもとプロジェクトが動き出します。その前に南側の開発を先行させまして、2024年の春に開業を予定しており、こちら側は住宅エリアでありますので周辺居住者と駅利用者をターゲットとして、食物販や飲食といったテナントを誘致し、気軽に立ち寄っていただける施設を目指しております。そして北口につきましては、少し先にはなりますが現在の駅ビルを解体し、駅直結の商業とオフィスを有する複合ビルを建設し、バスターミナルを再整備いたします。また、岡崎市と連携して、地域の活性化のためにイベント等のスペースを整備する計画です。以上、当社の直近の開発案件を2つ紹介させていただきましたが、こうした周辺駅の再開発により沿線のブランド価値の向上につなげたいと考えております。

次に名駅再開発の概要と現在のポジションについてお話

しします。いずれリニアが開業すると名古屋一品川間が約40分となり、名古屋駅を起点として鉄道と道路でアクセスできる範囲、時間圏で120分圏域というのは資料の通り大幅に広がります。品川、名古屋、大阪の拠点からの120分圏人口を比較すると、リニア開業後は3大都市の中で名古屋が最大となるとも言われております。そこで当社の名駅再開発ですが、まずは駅機能の充実を第一と考えております。現状は、ご案内の通り分かりにくい駅として評価されている名古屋駅でございますが、面積を約1.7倍に拡張し、現在の上下2線を4線に拡張することで乗降をスムーズにし、さらには空港アクセスの利便性を向上させたいという計画です。そして、建物については近鉄さん、三井不動産さん、日本生命さんと協力してこの図の通り、広いエリアでの再開発を目指しております。今年度は2024年度における事業の方向性判断に向けて、地権者と検討の深度化を図るために基本設計に着手しているといった状況です。今のところお話しできるのはこれくらいですが、名古屋そして中部圏の玄関口にふさわしい名駅の再開発を行うことで地域活性化に寄与して参りたいと思っておりますので、皆さまのご理解とお力添えをいただければと思っております。名鉄グループはこれからも地域とともに歩んで参りますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

以上で私の卓話を終了とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。



委 員 会 報 告

「第12回大治ちびっこ農園収穫祭」

幹事 竹田竜一郎君

第12回大治ちびっこ農園収穫祭が大治町で開催されました。

会場の畑は、あまロータリークラブ会員が無償で提供し、地元のNPO法人元気大治街づくりにより運営されています。あまロータリークラブは、この事業に毎年支援金を提供しています。当日は、地元のボーイスカウトにも協力を頂き、盛大に芋掘り大会が開催されました。取材に地元ケーブルテレビ局クローバーTVも取材に駆けつけてくれました。子供達の収穫の笑顔が大変印象に残りました。

